

題材名 「金銭の管理と購入」 (第2学年 C 消費生活・環境)

■本事例のポイント

1. 実生活に即した課題の設定や提示資料の工夫により生徒の意欲を高め、生徒が自分事として課題を捉えられるようにした。
2. OPPシートやワークシートで生徒の思考を可視化し、生徒の学習や教師の指導に生かせるようにした。

■題材の目標

- ・物資・サービスの購入についての課題を解決するために、物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、工夫することができる。

■題材の指導計画 (7時間)

第1時

- ・アンケートなどで自分の消費生活を振り返り、消費生活における問題を見いだし課題を設定する。

第2時

- ・売買契約の仕組みや、いろいろな購入方法・支払方法の特徴を理解し、スニーカーの購入について考える。

第3時

- ・県民生活センターより講師を招き、県内中学生の事例から消費者被害の背景と対応方法を考える。

第4時

- ・模擬家族における旅行費用の貯蓄のために収支のバランスを調整する方法をグループで検討し、全体で発表する。

第5時

- ・情報を収集・整理して活用する方法を理解し、自分の目的に合った商品（文具のり・スニーカー）を選択する。

第6時

- ・これまでの学習を生かして自分の目的に合った自転車の条件を考え、情報を収集・整理して模擬購入を行う。

第7時

- ・第6時の自転車購入について再検討する。
- ・題材全体を振り返り、よりよい生活の実現に向けて自立した消費者としてできる行動を考え、まとめる。

■本時の概要

【課題】

これまで乗っていた自転車が小さくなってしまったため、最低4年間は買い替えないことを条件に、新しく自分専用の自転車を購入することになりました。使用目的（どんな場面で乗るのか）を考えて、自分にとって「一番よい」一台を選ぼう。

目標：これまでの学習を活用して、目的に合った自転車を購入しよう。

3種類の店舗、10種類の自転車の情報をカタログやチラシで用意し、生徒たちが実際の自転車購入場面をイメージしながら課題に取り組むことができるようになりました。



【導入】

3店舗（自転車専門店・通信販売・ホームセンターの自転車のカタログやチラシ）を提示する。



【展開Ⅰ】

使用目的や商品選択の際にこだわるポイントを基に情報を比較し、使用目的に合った自転車を選択する。

情報キャッチベース									
色	青	赤	白	緑	黒	オレンジ	黄	紫	茶
年齢	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳
性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男
性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男
性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男
性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男
性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男
性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男
性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男

【展開Ⅱ】

グループで発表し合う。「目的に合っているか」を視点に質問や意見交換を行い、気付きをワークシートに加筆する。

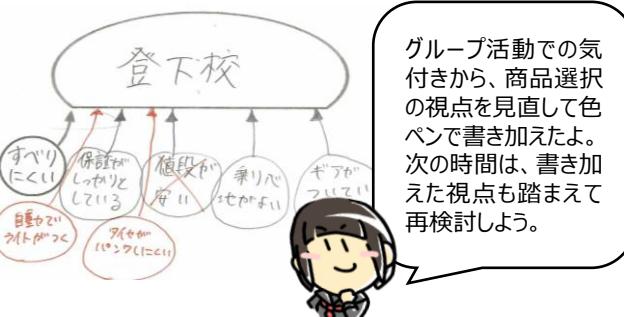
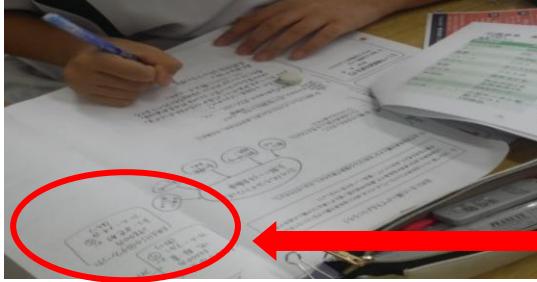


【終末】

OPPシートに今日の授業の気付きを記入する。

1. (2) おもに自転車の購入についての知識を学んだ。
2. (3) 自転車の購入についての知識を学んだ。
3. (4) 自転車の購入についての知識を学んだ。
4. (5) 自転車の購入についての知識を学んだ。
5. (6) 自転車の購入についての知識を学んだ。
6. (7) 自転車の購入についての知識を学んだ。

■学習調整をしている子供の姿



子供が自らの学習を振り返る場面の設定



■指導と評価の工夫

- ① 自転車購入の目的設定から再検討までの2時間分を1枚のワークシートに記入
- ② 自分に必要な情報を自由に収集・整理するための「情報キャッシュスペース」をワークシートに配置

- * 必要な情報を整理することで、生徒は目的に沿った商品を選びやすくなり、次時の再検討の際に情報を見直すことができる。
- * 教師にとっては、可視化された思考を基に支援や評価を行うことができる。

- ③ 毎時間使用するOPPシートに題材を貫く自分の課題と毎時間の気付き、疑問、つまずきなどを記入

- * 生徒は、題材を貫く自分の課題を意識して学習に取り組むことができる。
- * 気付きを書き溜めることで、学習後に自分の変容を知ることができる。
- * 教師は、生徒の疑問やつまずきを把握し次の指導に生かすことができる。

■成果 (○) と課題 (▲)

- 教材として生成AIを活用して作成したカタログを用いたことで、生徒の意欲を高め、実際の購入場面をイメージして学習に取り組むことができた。
- 思考ツール（クラゲチャート）や情報キャッシュスペースを活用することで、購入の目的を意識して学習を進めたり、学習調整に役立てたりできた。
- ▲より生活に即した課題の設定やワークシートの内容、振り返りの観点などについて検討を重ね、生徒が家庭での実践につなげていけるような授業を目指したい。

【活用したアプリや機能】Google Classroom、ロイノート、Google Gemini (教師による活用)、Canva(教師による活用)